線分二等分試験｜測定・条件の記録

STROKE LAB 独自記録補助票　／　A4縦・全2ページ

> 正式な検査用紙・BIT採点表ではありません。使用する検査の用紙・マニュアルを別途準備してください。本票だけでは標準化検査を実施・判定できません。

対象者ID：　　評価日・時刻：

評価者：　　疾患・発症からの期間：

1　実施方法と条件

使用した検査名・版・用紙ID／参照手順：

姿勢・紙の向き／身体正中との位置・距離：

利き手／今回の使用手・麻痺・上肢支持／補助具：

眼鏡・視野等の所見／教示の理解・疲労：

教示・練習・追加声かけ・再試行（変更点を明記）：

2　試行ごとの測定値

L＝線全長、x＝患者から見た左端から印まで。d＝x−L/2。
本票の符号：右＋／左−。p＝d÷(L/2)×100（半長基準%）。

試行	L mm	x mm	d mm	p %	位置・条件 ／未実施等
1					
2					
3					
4					
5					
6					

欄数6は試行数の指定ではありません。必要時は本ページを追加し、原反応用紙を保存。記録可能な値のみ記入し、未実施・測定不能は理由欄へ。0で補完しません。

未実施・中断・測定不能の試行番号と理由：

線分二等分試験｜解釈・生活への接続

対象者ID：　　評価日・評価者：

3　結果の整理（同じ条件ごとに）

実施できた本数：　　／予定：　　条件・線長の組：

使用する集計方法・対象試行	結果・単位
符号付き平均（方向を残す）	
絶対値の平均（大きさを見る）	
使用版の正式結果（別途算出した場合）	

mmと%は別に集計。左右の偏位は平均で相殺されます。異なる線長・位置・介助条件を一括しないでください。独自の総点・カットオフは設けていません。

4　解釈と追加評価

偏位方向・ばらつき／視野・理解・運動面の影響：

抹消課題・描画・生活観察等／確認済みと未確認：

5　生活所見と支援計画

場面・左右の見落とし・必要な声かけ／本人・家族の情報：

次の観察／支援内容・担当者・再評価時期：

本票は独自の結果整理用です。原著・BITの検査図版／採点表ではありません。
正常に近い結果でも無視は否定できません。移動・運転等の安全性は別に評価します。

出典：Schenkenberg et al. Neurology. 1980;30:509-517. doi:10.1212/WNL.30.5.509
Jee et al. Appl Clin Inform. 2015;6:400-417. doi:10.4338/ACI-2015-01-RA-0002
BIT正式資料： https://shinkoh-igaku.jp/inspection/